

沿革

トピックス

平成21年

- 4月1日
- 新入職員30名(男性13、女性17)が入庫
- 4月20日
- 年金友の会旅行(宮城県志津川温泉)
- 6月1日
- クールビズを実施(9月30日まで)
- 6月15日
- 信用金庫の日
 - 全営業店で地域の道路・歩道等の清掃を実施
 - 1日感謝デーを開催
- 7月13日
- 「子育て応援プラン」の取り扱いを開始
- 7月21日
- 「個人型確定拠出年金(410K)」の取り扱いを開始
- 7月26日
- 全営業店ATMの日曜・祝日稼働を開始
- 9月8日
- しんしん会旅行(北海道)
- 9月24日
- 「ビジネスサポート1000」の取り扱いを開始
- 10月1日
- 「夢みるこどもの学資保険」の取り扱いを開始
 - 「標準傷害保険」の取り扱いを開始
 - 新型インフルエンザ感染拡大時における業務継続計画を策定
- 10月2日
- フィッチ・レーティングス社より「★安定的」の格付を取得
- 10月21日
- 栃木県知事より「子育てにやさしい事業所」(財)とちぎ青少年こども財団会長賞を受賞
- 10月26日
- 「コンサルティングプラザ足利」をオープン
- 11月15日
- 旅行友の会海外旅行(ハワイ)
- 11月16日
- ウォームビズを実施(3月31日まで)
- 12月1日
- 自動車保険の取り扱いを開始
 - 事業資金や住宅資金の返済等に関する「相談窓口」を全営業店に設置

あゆみ

大正	14年 10月	産業組合法による有限責任足利信用組合として設立
	15年 2月	初代組合長に斎藤與左衛門就任
昭和	4年 11月	第2代組合長に山口甚四郎就任
	18年 7月	市街地信用組合法による信用組合に改組
	21年 5月	第3代組合長に荻野英二就任
	23年 2月	営業地区を足利郡4町11村に拡張
	25年 4月	中小企業等協同組合法に基づく信用協同組合に改組
	26年 10月	信用金庫法の公布により信用金庫に改組。足利信用金庫と改称
	30年 12月	営業地区を群馬県毛里田村、矢場川村に拡張
	41年 5月	営業地区を佐野市、安蘇郡に拡張
	46年 5月	本店を新築(現本店)
	49年 7月	営業地区を群馬県桐生市、太田市および邑楽郡邑楽町に拡張
	51年 12月	日本銀行と当座取引を開始
	52年 5月	第4代理事長に近藤武恒就任
	11月	日本銀行と歳入代理店契約を締結
56年 6月	営業地区を群馬県邑楽郡大泉町に拡張	
58年 10月	国債の窓口販売を開始	
59年 12月	本店営業部、日本銀行の国債代理店に指定	
60年 7月	営業地区を群馬県館林市に拡張	
63年 5月	第3次総合オンライン開始	
平成	元年 5月	第5代理事長に大谷武二就任
	9月	新しいシンボルマークを制定
	2年 7月	都市銀行および地方銀行とCDオンライン提携
	12月	預金量1,000億円を達成
	3年 2月	サンデーバンキング開始
	5年 6月	営業地区を群馬県邑楽郡千代田町に拡張
	6年 12月	懸賞金付き「おたのしみ定期預金」の取り扱いを開始
	7年 11月	創立70周年記念式典・祝賀会およびチャリティショーを開催
	8年 7月	新型「貯蓄預金」の取り扱いを開始
	12月	「あししん年金の会」創設
	9年 6月	営業地区を群馬県新田郡新田町、尾島町に拡張
	10月	インターネット上にホームページを開設
	11年 10月	「投資信託」の取り扱いを開始
	12年 6月	第6代理事長に金子彦四郎就任
	13年 3月	「スポーツ振興くじ(サッカーくじ)当せん金払戻業務」の取り扱いを開始
	14年 3月	「ペイオフご相談コーナー」開設
	10月	「生命保険 募集業務」の取り扱いを開始
	15年 2月	「個人向け国債」の取り扱いを開始
	16年 2月	「小山信用金庫」と「合併の基本的事項に関する協定書」を締結
	7月	「新しいシンボルマーク」を商標登録申請
11月	「小山信用金庫」と合併し「足利小山信用金庫」と名称変更 決済用預金の取り扱いを開始	
17年 3月	足利・小山・栃木の各商工会議所と融資商品の提携	
4月	投資信託の窓口販売を全店で開始	
10月	第7代理事長に篠田洋行就任	
18年 5月	旧今福支店に「ローンプラザ足利」をオープン	
19年 12月	助戸支店を足利市芳町へ新築移転	
20年 5月	「コンサルティングプラザ小山」を宮本町出張所内にオープン	
8月	足利工業大学と産学連携に関する協定を締結	